



外国出張報告書

平成 27 年 1 月 20 日

1. 出張国名 マダガスカル、ガーナ
2. 出張月 平成 26 年 11 月～12 月
3. 出張目的 マダガスカルにおける稲作技術調査およびため池稲作の調査、
 ガーナにおけるため池利用のベースライン調査：B

4. 成果の概要

1-1) マダガスカル中央高地北部の有機米フェアトレードを行う農協の技術普及体制と組合員農家 9 戸の経営調査を実施した。

1-2) マダガスカル中央高地南部の山間地でため池稲作を行う集落で、ため池の建設経緯を聞き取るとともに、ため池利用農家約 40 戸を対象に経営調査を実施した。

2) ため池利用のベースライン調査の一環であるセンサス調査の準備を、ガーナ開発大学の農業経済研究者と行った。また、同氏に紹介された調査スタッフとともにタマレ近郊の実証調査対象村とその周辺 2 村を訪れ、事前に設計したセンサス調査票を試用・修正するとともに、調査票の記入方法について調査スタッフに説明・指導した。